

横浜

横浜総局
〒231-8504
横浜市中央区日本大通15
☎ 045-681-6101
fax 045-641-9696
mail kanagawa@asahi.com

田園都市支局
〒225-0011
横浜市青葉区あざみ野2-12-5
☎ 045-904-9010
fax 045-904-9020

川崎 ☎ 044-244-4306
厚木 ☎ 046-221-3300
湘南 ☎ 0466-26-4911
横浜東 ☎ 046-822-0211
鎌倉 ☎ 0467-22-0123
小田原 ☎ 0465-32-3822
相模原 ☎ 042-752-3150
平塚 ☎ 0463-35-3246

きょうの天気

6-12時 降水確率 12-18時

0	横浜	10
0	三浦	10
0	海老名	10
0	小田原	10

横浜	南	南南西	南西	小田原
三浦	西南西	南西	波	2.0m
湿度	50%			
気温	最高	最低		
横浜	14度	4度		
三浦	14度	8度		
海老名	14度	0度		
小田原	15度	2度		

あす

横浜	北北西	北	小田原
三浦	西	南南西	南
湿度	40%		
気温	最高	最低	
1月2日	日出	1月3日	
1月2日	日入	1月3日	
6:51	6:51	6:51	
16:40	16:41	16:41	
7:04	7:55	7:55	
17:46	18:58	18:58	
0.7	1.7		

潮

横浜港	2日	3日
	大潮	中潮
満潮	6.05	6.45
干潮	17.40	17.40

黒板の前に座る男児2人がこの授業の司会役。その左にいるのが板書役。黒板を書き上げた後、自分のノートを仕上げています。横浜市中区神奈川区の白幡小学校



授業任せ

変わるまなびや

教育2014

1

未来を生きるのに、必要なものは何なのか？ その答えを子どもたちに受け渡すため、まなびやは、挑戦を続ける。

「今日のめあては『人々のくらしはどのように変わったのか？』です。横浜市神奈川区の白幡小学校。6年3組の教室で1時間目の社会科の授業が始まった。第2次世界大戦後の日本について学ぶ。

「1966年を読みます。じゃあ、藤川さんから」。この字形に並ぶ子どもたちに呼びかけるのは、教師ではない。社会科係で司会を担当する木津毅晴君(12)と市川優輝君(12)だ。

板書も子どもの仕事だ。教科書を読み進む間に、この日の板書担当メンバー3人は先回りして読み、重要ポイントを書いていく。「電気製品も普及」「公害病が多発」。特に大切な点は赤や青で色を付けて目立たせる。

「では、渡辺先生、お願いします」。木津君の声で、壁際に立っていた担任の渡辺誠教諭(39)が、ようやく登場した。

「今、とても大事な学習をしています。戦後、どのように日本が立ち直り、独立し、暮らしが変わったか」。

「気付いたこと、考えたことをノートにまとめて下さい」。教師の役割は基礎的事項の説明や、重要ポイントの確認など。質問にも答えるが、子どもたちが意見を出し合うと、大抵、答えは見つかる。「子どもたちが学ぶ様子を見ていた方が、理解度がよくわかる」と渡辺教諭は言う。

お馬に乗せて今年厄払い

中区の本牧神社

今年400年。400年以前から伝わる厄よけの神事「お馬流し」で知られる本牧神社(横浜市中区)では、馬にちなんだお守りや破魔矢を準備している。



円には給馬と、稲わらを編んでつくった馬がついて御利益があると言われる

全校で児童が司会 学力ぐんぐん

白幡小が教師が進行する授業をやめて4年半になる。きっかけは2008年春。永池啓子校長(57)が白幡小に赴任してすぐのことだった。朝会で話をするため、全校児童の前に立ったが、子どもたちのおしゃべりがいつまでもやまない。10分。まだ冷たい風の中、静かになるのを待った。

「人の話を聞く姿勢ができていない。授業も、子ども同士の会話も、ちゃんと聞けていないんじゃないか」。

授業を変えなくては。そう決意した。永池校長は国語が専門だ。考える力、学ぶ力、言葉の力をどの子にも保証したい。文部科学省の井上一郎・教科調査官(現・京都女子大教授)が提唱する「子どもが司会をする授業」を取り入れることにした。司会は、話す力を磨くだけでなく、子どもが主体的に授業に参加する仕掛けになる。決して新しい試みではなく、研究会などで成果は報告されていた。だが、それは教師個人の取り組み。「一人の教師がやっても、効果は小さい」。全校での取り組みにこだわった。

グループや教室全体で意見を出し合いながら考えを共有するには、全員が黒板に向かって座る配列は向かない。まずは机の配置を、コの字形に変えた。そして09年に国語から司会を導入。体育、社会科と広げ、11年からは全学年、全教科で、児童が司会として授業を進めている。

「一番喜んだのは子どもたちだった。『自分が司会をやる日に学校を休むなんて、あり得ないという勢いでした』。導入当時、2年生を担当していた岩元カオリ教諭(45)は振り返る。

学力も階段を上るように上昇した。昨年の全国学力調査では、思考力を問うB問題で、全国平均を約13ポイント上回る結果を出した。同時に行われたアンケートでも「自己肯定感」は10ポイント、「国語の勉強が好き」は20ポイント、それぞれ全国平均より高かった。半ば強制的に始まった「司会授業」。だが、教師たちも「今までの授業には戻りたくない」と言う。(星井麻紀)



牛井店に半月で28日午前2時45分まで、店すき家の運営会社から「強盗に入られたらと幸甚に電話があった」